

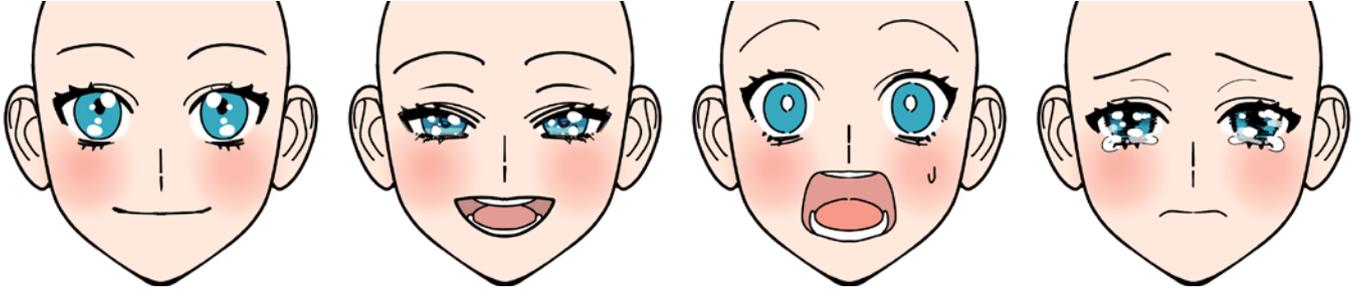
# 05

## 感情が伝わる 表情を描く



# 表情のキホン

## 感情で変化する表情を観察する



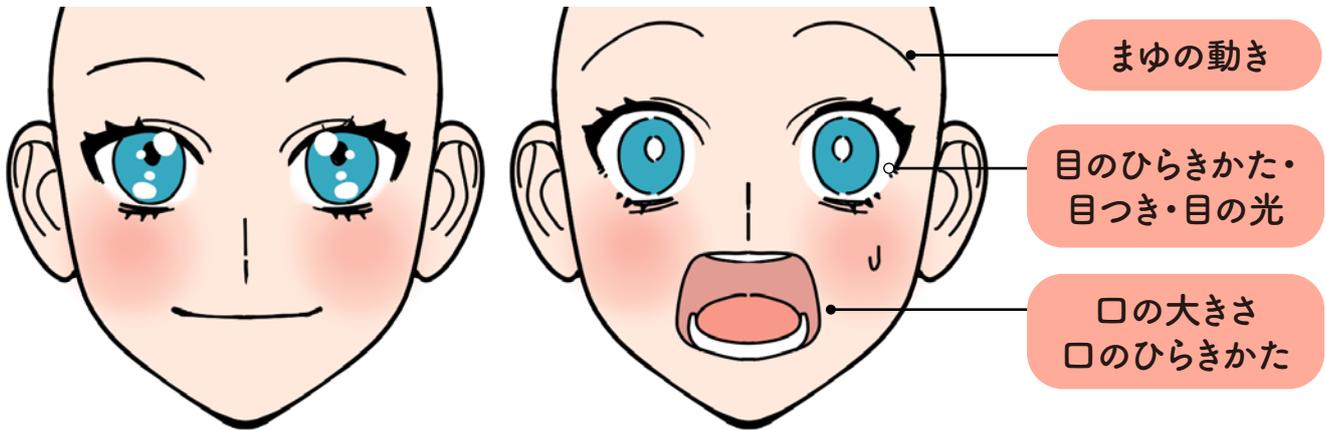
表情とは、感情によって変化する顔つきのことをいいます。

たとえば、嬉しいことがあったときは思わず笑顔になったり、つらいことがあったときは泣いたり、怒ったりすることがありませんか？

キャラクターイラストにとっても、表情の動きは大切なポイントです。

このワークでは、場面や感情にあわせた表情を描いていきます。

## 表情を動かすポイント



表情の動きは、主に3つのポイントを意識しましょう。

①目のひらきかた・目つき・目の光 ②まゆの動き ③くちの大きさ・口のひらきかた

次のページから、この3つのポイントについて解説していきます。

表情の動きは、場面や感情を伝えることはもちろんですが、動きかたや動きの大きさによってキャラクターの性格まで表現することができます。キャラクターデザインをするうえで大切なポイントになりますので、このワークでしっかり習得しましょう。

# 表情の変化を描き分けよう!

## 目つき・目のひらきかた・目の光



目つき



目のひらきかた

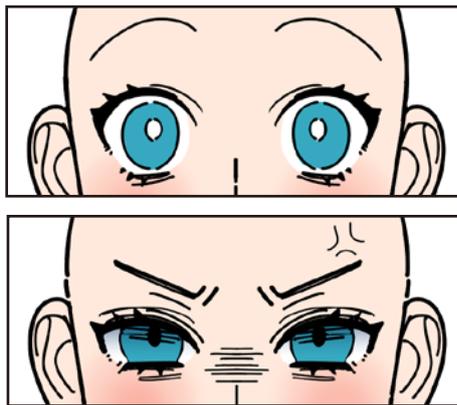
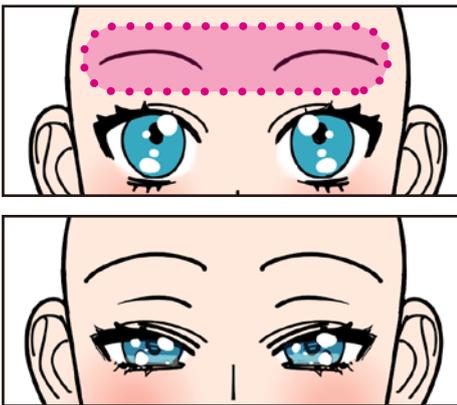


目の光(ハイライト)

目つきとは、ものを見るときの様子です。たとえば目に力をいれてものをみていると、にらんでいるようにみえたりします。キャラクターの動きに合わせて目つきを変えてみましょう。また、喜び、怒り、悲しみなど、感情によって目

のひらきかたも変えるとより表情豊かに見えます。そして、目のなかのキラキラした光をハイライトといいます。イラストの仕上げにハイライトを加えることによって、いきいきとした表情を作ることができます。

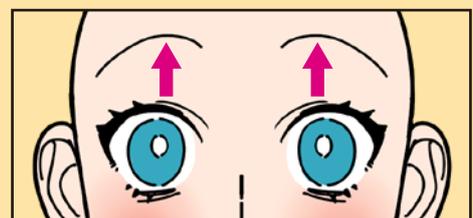
## まゆの動き



伝えたい感情に合わせて、まゆの動きをかえてみましょう。まゆの動きが変わると、まゆと目のキョリにもちがいがうまれます。左のイラストはそれぞれどんな表情に見えますか？

### ポイント

まゆと目の動きは連動します。たとえば、おどろいて目を大きく見開こうとするとまゆは上に引っぱられ、怒りで眉間(みけん)にしわを寄せようとする目は少し閉じられます。



# 表情の変化を描き分けよう!

## 口の大きさ・口のひらきかた



口を閉じて笑う



少し口を開けて笑う



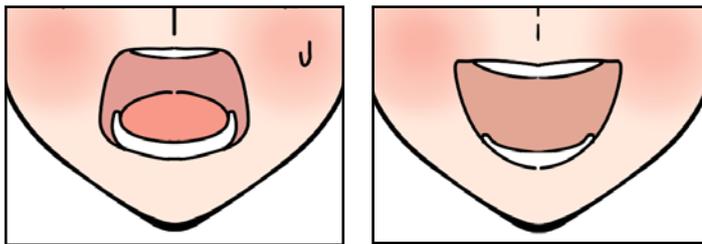
大きく口を開けて笑う

口は言葉や声を発する部位(ぶい)です。

目に続いて口も表情を豊かにする大切なパーツと言えます。

口は目と同じで、わずかな口の大きさの違いで様々な表情を見せることができます。

感情の度合いによって、口の大きさを変えてみると、表情の変化を描きやすくなります。



口の大きさだけでなく、ひらきかたにも注目してみましょう。左のイラストはそれぞれどのような表情をしていると思いますか?

感情や場面に合わせて、口のひらきかたも工夫してみるとよいでしょう。

### ポイント



まゆ・目・口の動きはセットで考えましょう。

たとえば、大きく口を開けて笑うほど、ほほがうえに引っぱられ、目はその分自然に閉じられたりします。

また、おどろいて目を見開くとまゆは上に引っぱられますが、大きく口があいていても口角(こうかく)は上がっていないため、目が自然と閉じられることはありません。表情の変化にともない、まゆ・目・口がどのように形を変えるか、自分や周りの人の顔をよく観察しながら描いてみてください。